

追悼 大江健三郎氏

令和5(2023)年3月3日、作家の大江健三郎氏が逝去されました。県立図書館で所蔵する氏の著作や関連資料等をご紹介します。

■大江健三郎氏略歴 (参考:『作家・小説家人名事典』(日外アソシエーツ株式会社/編 2002)等)

昭和10(1935)年1月31日生まれ。愛媛県出身。東京大学仏文科在学中の昭和32年に執筆した『奇妙な仕事』で文芸評論家の荒正人や平野謙に認められ、翌年に発表した『飼育』で第39回芥川賞を受賞。閉塞状況における青春を豊かな想像力で描き出し、石原慎太郎らとともに第一次戦後派文学の志向を継承しうる世代の一人として期待され、新しい文学の旗手的存在となる。受賞は数多く、昭和42年『万延元年のフットボール』で谷崎潤一郎賞、同48年『洪水はわが魂に及び』で野間文芸賞、同59年『河馬に噛まれる』で川端康成賞を受賞している。評論家としても行動的な姿勢を示し『ヒロシマ・ノート』等を執筆したほか、芥川賞の選考委員を10年以上務めた。国際的作家として海外でも幅広く活動し、平成6年に日本人としては川端康成に次ぐ2人目となるノーベル文学賞を受賞した。

■著書

資料名	出版者	請求記号	資料コード
大江健三郎全小説 全15巻	講談社	918/オ.5/7.1~7.15	
万延元年のフットボール	講談社	913/オ5/15	1101418794
ヒロシマ・ノート	岩波書店	080/123/563	1106416231
沖縄ノート	岩波書店	080/123/762	1106416249
大江健三郎作家自身を語る	新潮社	910.268/980	1105117079
文学の淵を渡る (古井由吉氏との共著)	新潮社	904/465	1105886400
同じ年に生まれて (小澤征爾氏との共著)	中央公論新社	914/オ.10/23	1104556806

■外国語翻訳作品(英語・ポルトガル語)

資料名	訳者	請求記号	資料コード
A personal matter (『個人的な体験』の英訳)	John Nathan	913.6/OE	1104238231
The pinch runner memorandum (『ピンチランナー調書』の英訳)	Michiko Wilson, Michael K. Wilson	913.6/OE	1104238207
The silent cry (『万延元年のフットボール』の英訳)	John Bester	913.6/OE	1104238223
A quiet life (『静かな生活』の英訳)	Kunioki Yanagishita, William Wetherall	913.6/OE	1104238215
Morte na água (『水死』のポルトガル語訳)	Leiko Gotoda	913/OE	1106494204

リストにある資料は、公開資料室4階の展示コーナー(「展4」)にあります。
リスト以外にも多数の資料があります。詳しくは職員にご相談ください。